

Sociedad Española de Okinawa



Vol. 4

会報第4号

新型コロナウイルス対策の取り組みについて

沖縄スペイン協会（SEO）では、スペインに関わるイベントの開催のみならず、沖縄での生活に困難を抱え、情報を必要とする人々を支援したいと考えています。現在、COVID-19の世界的流行を受け、沖縄県・日本政府によって様々な施策が行われています。当協会は、沖縄県国際交流・人材育成財団(OIHF)からの依頼を受け、県や政府が提供する支援や情報を多くの人が直接理解できるように、スペイン語の翻訳に取り組んでいます。私たちはあなたを家族のように歓迎します。どうぞ遠慮なくご相談・ご連絡下さい。

En SEO a parte de organizar eventos también queremos ofrecer ayudas a todos los hispanohablantes que necesiten información ante dificultades que encuentren viviendo en Okinawa. En este caso, debido a la pandemia mundial COVID-19, OIHF nos propuso ayudar en estos momentos con las traducciones y nosotros aceptamos en seguida. Por eso en SEO nos comprometemos a ofrecer este servicio de traducción para que muchos de nosotros entendamos de primera mano las ayudas que nos ofrece el gobierno. Queremos hacerles saber que en SEO somos como una familia y que estamos a vuestra disposición.

連絡先 Contacto:

okinawaspain@gmail.com

<https://facebook.com/seokinawa>



こんにちは。私はスペイン人で、ルゼと申します。私は日本の文化が好きで、中学生時代から日本語を勉強してきました。2014年に琉球大学へ留学する機会があり、それ以来沖縄に住み込み、生活しています。

皆さんもご存じのとおり、COVID19は我々に大きな影響を与えました。特にこのパンデミックにおいて最初の数カ月間は状況を理解することが難しく、どの様に行動するのか明確な答えを見つけることは難しいものでした。感染が急増している期間は外出することを怖いと思ったことがあります。スパーや人ごみの多い場所になると、緊張してしまう瞬間さえありました。常にCOVID19への感染対策に細心の注意を払って行動するように心がけました。

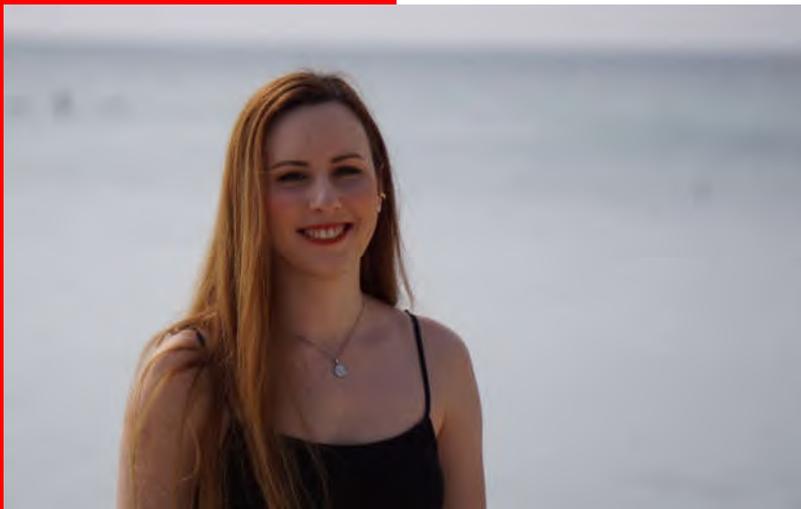
また、国際的なニュースをよく見ました。特に母国であるスペインにおいて、非常に多くの方がコロナによって亡くなっていることも気がかりでした。私の文化ではハグをする習慣があり、また挨拶で頬にキスをするのが当たり前です。スペインやイタリアなどの地中海沿岸国、ペルーやメキシコなどのラテンアメリカの国々でソーシャルディスタンス（社会的距離）をとることは非常に難しいことだと感じました。パンデミックの最中、私は遠く離れた家族と何度もビデオ通話をしました。実際、家族は二月に沖縄に来る予定でしたが、スペインへ帰国することが不可能になるのではないかと、あるい

は空港で待機を命じられるのではないかとという恐れがあったので、この旅行を中止しました。家族と長く会えずに寂しいですが、もうしばらく我慢が必要です。

OIHFのサポートについて

OIHFによる在住外国人支援の多言語情報、例えば医療通訳や弁護士による相談、「ニューノーマル」における就職活動の支援やDV対策サポートにより、コロナ禍においてどのような問題があるのかを理解することができました。は、我々は一人ではないことを感じさせ、沖縄県や日本政府が我々の事を心配してくれていることを教えてくれます。私は沖縄に9年間住んでいます。スペイン語の情報はほとんど見たことがありません。また、すべてのスペイン語話者が英語や日本語等をよく理解しているわけではありません。そのため、OIHFによる多言語情報の発信は良いアイデアだと思いました。私もまた、この翻訳業務によって沖縄に住んでいる皆さんのスペイン語話者を支援していると感じます。どのような支援が提供されているのか正しく情報を届ける事、内容をより明確に表現できるように心掛けて翻訳をしています。OIHFのHPをご覧ください。そこでCOVID19に関する様々な問題とその支援についての情報を提供します。どうぞよろしく願います。

<https://kokusai.oihf.or.jp/covid-19/>



ルゼ・ロメロ・コスタ
Roser Romero Costa

Hola, me llamo Roser y soy española. Siempre me ha gustado la cultura japonesa y he estudiado japonés desde secundaria. En 2014 tuve la oportunidad de hacer un intercambio de estudios en la Universidad de Ryukyus y desde entonces he estado estudiando y trabajando en Okinawa.

El COVID-19 nos ha afectado a todos. Sobre todo, en los primeros meses de la pandemia fue muy difícil entender la situación y no sabía claramente como actuar ya que nos pilló desprevenidos. Durante los picos de infección tenía bastante miedo a salir de casa. He sufrido momentos de tensión cuando he estado en supermercados o en lugares donde había aglomeraciones. Constantemente intento actuar con el mayor cuidado para prevenir la infección por COVID-19. También, estuve muy pendiente de las noticias internacionales, especialmente en el caso de España ya que ha habido y sigue habiendo un gran número de muertos. En mi cultura, es costumbre dar abrazos y es normal saludar con besos, y por ello, creo que ha sido muy difícil poner en práctica el distanciamiento social en países mediterráneos como España e Italia, y países latinoamericanos como Perú, México, etc. Durante la pandemia he realizado muchas videollamadas con mi familia, de hecho, teníamos planeado que vinieran a verme en noviembre en Okinawa pero al final hemos cancelado el viaje por miedo a que no puedan volver a España o que los retengan en algún aeropuerto. Hace mucho que no veo a mi familia

y les echo de menos, pero necesito tener paciencia por un tiempo.

Acerca del soporte de OIHF La información multilingüe de OIHF para el apoyo de residentes extranjeros me ha servido para conocer las ayudas que proporcionan como la interpretación médica, asistencia de un abogado, soporte en caso de violencia doméstica, ayuda para encontrar trabajo, u otros problemas que pueden enfrentar los extranjeros en Okinawa durante la "nueva normalidad". OIHF nos hace sentir que no estamos solos y que el gobierno se preocupa por nosotros. Llevo 6 años en Okinawa pero pocas veces he visto información en castellano. No todos los hispanohablantes entendemos bien el inglés, japonés u otras lenguas. Por eso me pareció muy buena idea poder traducir para OIHF. Siento que traduciendo estoy ayudando a muchos hispanohablantes que viven en Okinawa para informarse bien de cuales son las ayudas que nos ofrecen y que puedan entender el contenido de una manera más clara. Os invito a visitar la página web de OIHF <https://kokusai.oihf.or.jp/covid-19/> que ofrece información acerca de los problemas que podemos enfrentar durante el COVID-19 y de sus ayudas. Saludos cordiales.

沖縄スペイン協会 2020年の始まり

島袋 紀子

沖縄スペイン協会は2017年に上原由記音

(元琉球大学教授)先生のもと発足し、活動を開始しました。スペインのクラシック音楽コンサート、ギター演奏、スペイン料理教室やフラメンコ体験会など県内各地で様々な催しを開催してきました。

今年3月に琉球大学での任期を終え沖縄を離れる上原先生のあとを継ぐのは、ギジェルモ・アランプーロ新会長です。バルセロナ出身のギジェルモ会長は沖縄に来てはや7年。国際的なNPOにも携わっており、ソーシャルワーカーとして県内各地で活躍する一方、スペイン語教室を通してスペイン文化の楽しさを発信しています。

上原先生の送別会と、新年度の活動計画を立てるため役員が一同に集まりました。一品持ち寄りの会は、お寿司やパエリア、トルティーヤ(スペイン風オムレツ)など日本とスペインの代表料理がテーブルを飾りました。上原先生には、当協会の設立から運営まで長年にわたり支えて頂いた感謝を込めて、花束と盾のプレゼントをお贈りしました。

新年が明けたばかりの時期に集まったので、ギジェルモ会長が奮発して杵と臼を用意し、餅つきにも挑戦しました。ところが私たち日本人メンバ―も餅をお米から準備するのは初めて。まずもち米の焚き方をどうして良いかわからず、水を増

やしたり、二度炊きしてみたり。。お互い試行錯誤しながらどうにか焚き上げ臼の中へ投入!あとは力任せにそーれ!オーレ!と声を掛け合いながら餅をついていきました。出来上がりはまずまずでしたが、やはりつきたてのお餅は美味しかったです。おいしい食事を囲みながら今年はどうやったらみんなで楽しめる企画ができるのか、相談しながら決めていきました。

しかし残念ながら、3月から始まった新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響で今年はどういう活動ができませんでした。来年は感染対策をしながら少しでも活動の幅を広げていけたらと思います。皆さんどうぞよろしくお願いします!



Cocina Española

Pollo al Ajillo 鶏肉のアヒージョ

スペインバル ラス トレス ラマス
内山 三枝

日本でもすっかりおなじみになったアヒージョ。スペイン料理のタパスのひとつ。ニンニクの香りをオリーブオイルにじっくりとうつして、エビなどの魚介類、鶏肉、野菜などを煮込んだ料理です。今回は鶏肉のアヒージョ。弱火でゆっくりと煮込むことでしっとりと柔らかく仕上がります。できあがったアヒージョ、まずは熱々のオリーブオイルにバゲットを浸してたべましょう。

◆ 用意するもの

カスエラ、スキレットなど直火にかけられるもの

◆ 材料

- 鶏もも肉 1枚 食べやすい大きさに切っておく
- にんにく 2~3かけら 薄切りにして真ん中の芯は取り除く
- 鷹の爪 一本 種は除いておく
- オリーブオイル カスエラの半分くらいの高さまでオリーブオイルを入れる
- 塩 適宜
- シェリービネガー 小匙1
- パセリ 少々

1. カスエラなどの鍋にオリーブオイルを半分の高さ位まで入れる。そこににんにくと鷹の爪を入れて弱火にかける。
2. にんにくが色付いてきたら焦げないうちに、鷹の爪と一緒に外しておく。
3. 鶏肉を入れて火にかける。
4. 鶏肉に火がとおったら塩を入れて、シェリービネガーを入れて火を止める。
5. 鷹の爪とニンニクを戻してパセリを散らして出来上がり。



¡Que
Aproveches!

カタルーニャ歌曲を歌う愉しみ〜トルドラ作品「五月」に寄せて

SEO副会長 服部 孫一

(琉球大学教授 / 冊煥堂)

孫一

冊煥堂

今回は、スペインの歌の魅力の中から、カタルーニャ歌曲の魅力について、特にその中でも、アンリック・グラナドスについてスペイン・ロマンティスト作曲家として数え上げることができる。と筆者が考えている、エドゥアール・トルドラと、彼の代表作「五月」の魅力についてご紹介したいと思う。

エドゥアール・トルドラ(1895-1952)

は、自ら優れたヴァイオリニストであり、20代半ばからすでに傑出した指揮者として国内外に認められた人物。「前衛」と呼ばれる実験的作品が次々と生み出される中、他のヨーロッパ諸国の音楽に比べてある意味スペインの音楽は、立ち遅れていたかのようにも見えていたが、彼は、スペイン1944年に創設されたバルセロナ私立管弦楽団の常任指揮者として、また多数のオーケストラを指揮。おびただしい数の演奏会を通して、外国の「進んだ」音楽をスペインに、また自国の音楽を外国に紹介することに多大な貢献をした。トルドラは、音楽評論家フェルナンデス・シドの言葉を借りるならば、「ヴァイオリンを奏する時も、

オーケストラを指揮する時も、また作曲する時

も、すべてのものが歌い出すような力を持っていた」人物でもある。その作品を聞けばたちどころに分かるように、まさにトルドラは、グラナドスに勝るとも劣らないロマン主義精神に溢れた存在であったのだ。並外れたロマンティストである彼は、演奏家・指揮者として、過去の、また同時代の作曲家たちの作品を演奏しつつ分析し、その様々な手法を自らの作曲法の貯蔵庫に蓄え、彼の創作的感性の源泉・抛り所としたのである。筆者は彼を最大の賞賛を込めて、「20世紀最高の折衷主義者」と捉えている。彼の音楽は、常に、感動を空間に解き放つ、遠心的表現へとつながっていく。リートとしてのサロンのものもあるが、大ホールでの管弦楽伴奏つき歌曲を想定したかのような、雄大なものまでが存在する。彼の歌曲作品は、歌いやすさと演奏効果に富み、文化芸術面におけるラナシェンサ精神(カステイージャの中央集権主義からカタルーニャのアイデンティティーを取り戻そうとする意気込み)に溢れ、時代思潮と切り離すことのできぬ深い意味を持つ作品が多く存在する。

彼の秀逸な作品群からベスト1を選べと言われ
たら、あまりに良い曲が多すぎて頭を抱えてしま
うが、敢えて挙げるならば「Maig(五月)」であ
ろう。長い冬を経験するヨーロッパ人にとって春
の到来は、待ち遠しいもので、トルドラもこの曲
で、彼の理想とする春を描いている。彼は「二部
作」ともいえる「Abril(四月)」という作品も併
せて書いているが、この「四月」では、待ち焦が
れていたのに、その喜びを享受しそこなってしま
いそうに足早に通り過ぎていく刹那的な「春」の
訪れを描いている。一方、「五月」では、万物が
蘇生し、新緑が芽吹き、蘇った自然の美しさを時
間をかけて味わい尽くしたいとする豊かな時間の
流れが描かれている。(歌詞対訳と楽譜に関して
は、拙論「トルドラとモンポウの歌曲研究」*を
ご参照いただきたいので、ここでは原詩は割愛す
る。また演奏に関してはYouTube等で名演奏家の
ものを是非聴いていただきたい。)

詩は、「四月」と同じく、カタルーニャの詩人
カタズス・Catasus が書いている。冒頭は、次
のように始まる…(訳 服部洋一)「花咲き匂う



大地／その大地に陶然と見とれる海原／[※]らかに滑らかな／勝ち誇れる命の喘ぎ／^{ルネサンスの}雨／^樋く水の流れ／優しく顔を輝かせて笑う／幼子のような水の流れ／^樋読んですぐわかるように原詩においても全て体言止めで書かれている。春の豊かさが自然に溢れ、その目に映っていく様に、詩人はそれに続く言葉も失うほどの感動を抱いているのだ。そしてこの詩人の感興はこの先、この「続く言葉も忘れるほどの体言止め」で進むのだが、ここでトルドラの音楽は一変し、続く詩行―「響きに満ちた明るさ」^の風景の中に消えて行く雲：」では、あたかもシューベルトのGanymedのクライマックスのように、気ぜわしく追い立てるような伴奏部によって音楽が前へ前へと運ばれていく（この堂々とした折衷手法を見よ！）そして「木々の柔らかな緑の露をはらうそ

よ風：」では、再び広い世界へと解き放たれ、次の印象的な一言へ渡されていく。「蜜蜂の微かな羽音：」―この部分は、オペラで言うところのレチタディーヴォ・セッコのように、印象的な口語リ調での処理を要求されているのがわかる。このギターの開放弦を模したアルペッジャート上の短い歌唱モチーフが、次にピアノ声部に引き伸ばされた形で間奏として現れ、歌唱声部がむしろディスクアントゥスのように助演へと回り「豊かな時間の深く／静かな平和：」と歌われるところでは、さらに倍の長さに伸展されて現れるのである。この部分、まさにオーケストラ指揮者・作曲家としてのトルドラの巧みな構築性が強く表れた部分であり、まるで交響曲のピアノ・リダクションともいえる筆致で書かれ、この部分に注目すると、彼の頭の中では、既にオーケストレーションが行われ、交響楽伴奏化を夢想して書いているかのようにも見える。さて、原調へと回帰する短い間奏のうち、音楽は第1主題へと戻り、ここはまさに廻りくる春を音楽的形式に写し取ったかのような円環構造を見せ、

「若く蘇った世界」^樋けんばかりの愛」に渡され、「銀細工の夜々の／甘美な忘却」を経て、音楽は、詩人の、そして作曲家の最も歓呼し、投射した

かった詩行「その時 五月の／静かな満月の夜は」へと盛り上がりを見せるのだ。しかし、音楽はここでは終わらない。この高揚した感動は、実はその次の一句へと歌い継がれ、更なる思いを籠められて収束へとむかうのである。「その時、静かな五月の満月の夜は」何をどうしたいのかというと、決して「ああ、なんとという幸せを運んでくれるのか！」とはならず、それとはいわば真逆の「何かいわく言いがたい／不幸を花々に語りかけているようだ」と締めくくられていく。言葉に出して言うことのできない「不幸」：ここに抑圧され蹂躪されたカタルーニャの苦悩と嘆き、自然はこのように廻り春が来るというのに、わが祖国カタルーニャの真の春はいずこに？という、プロテストのメッセージが巧妙に秘沈されていると筆者はみるのである。2021年の春、もしもコロナ禍が収束を迎えるならば、こトルドラの「五月」を心の底から歌いたいものだ。

*服部洋一著「トルドラとモンポウの歌曲研究―歌曲におけるカタルーニャ・ルネサンスの意味」(<https://ci.nii.ac.jp/naid/500000116379>)

Cuadernos de Historia

Un paseo por los lugares que han marcado la historia de España

スペインの歴史散歩道

SEO会長 ギジェルモ・アランブーロ
Guillermo Aramburo

Capítulo 2. Los primeros asentamientos (La revolución neolítica)

第2章 定住生活の始まり (新石器革命)

¡Saludos una vez más! En el primer capítulo conocimos las cuevas de Atapuerca y Altamira, Patrimonio de la Humanidad.

En esta ocasión, sólo nos remontaremos en el tiempo unos 8.000 años.

Por esa época, la tierra sufrió un calentamiento global que permitió la revolución más importante en la historia de la humanidad: la revolución neolítica. Pasamos de ser cazadores recolectores a vivir en un mismo lugar. Se inició la agricultura, la ganadería, la alfarería y la metalurgia. Este gran avance, lento pero decisivo, nos permitió tener más tiempo para pensar, hablar, socializar y desde entonces no hemos dejado de aprender y mejorar nuestra tecnología y conocimiento.

En Antequera, Málaga, se encuentra un grupo de dólmenes de hace 6.000 años que vale mucho la pena visitar. Patrimonio de la Humanidad desde el 2016, el dolmen de Menga, era usado como lugar funerario. Su extraordinario tamaño lo hace único. Con 27 metros de largo y 6 metros de ancho, necesita una fila central para sostener el techo del pasillo. La sala final está cubierta por una sola piedra de 180 toneladas. Se trata de una proeza inimaginable.

Tanto éste como el dolmen de Viera, están orientados a los equinoccios de primavera y otoño, y sirven como relojes agrarios; sin embargo, el tholos de El Romeral es una excepción en Europa por su ubicación. Está enfrente de la Peña de los Enamorados, una montaña muy peculiar que parece la cara de un gigante durmiendo, y no está orientado hacia los equinoccios, sino hacia la sierra del Torcal.

Un paseo por la sierra del Torcal puede ser parecido al 大石林山. La impresión que el visitante tiene al pasear entre piedras tan extrañas es tan increíble ahora como hace miles de años.

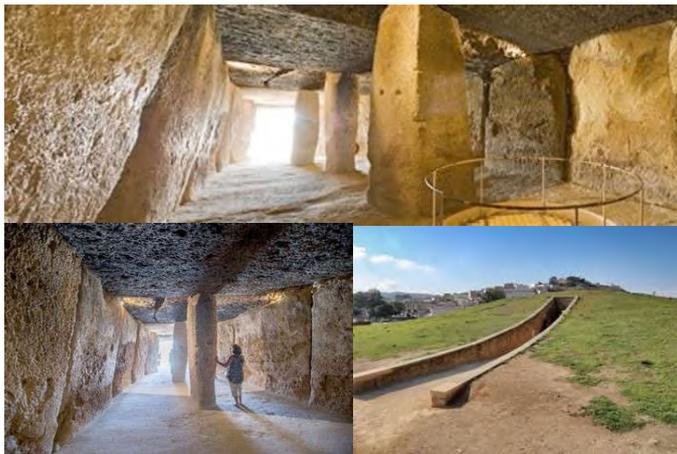
ハイサーイ、みなさん！

前号の第1章では、世界遺産にもなっているアタブエルカとアルタミラ洞窟の先史時代についてお伝えしましたね。

今回は、先史時代に続く約8,000年前にさかのぼります。

この頃の地球は温暖で、その影響を受けて、人類史上最も重要である新石器革命を可能にしました。そして狩猟のために移動する生活から、同じ場所に定住するようになり、農業、家畜、陶器、金属を加工する冶金が始まりました。

大きな進歩として、ゆっくりではありますが決定的に、より多くのことを考えたり、話したり、人と交流する時間を持てるようになり、それ以降私たちは技術や知識をよりよくするための発展が止まることはありませんでした。



マラガにあるアンテケラでは、約6,000年前の巨石支石墓ドルメンの集合が見つかり、訪れる価値があります。2016年に世界遺産となったメンガ支石墓は、葬儀の場として使用されていました。その並外れた石の大きさは、類い稀なものです。長さ27メートル、幅6メートルもあり、廊下の天井を支えるために中央に巨大な柱の列が必要になります。一番奥にある部屋は180トンもある石で覆われています。これは想像を絶する偉業とも言えます。

その支石墓とピエラ支石墓は、春分、秋分を知らせる方向に向けられていて、農業用の時計としても機能していました。

ただし、トーロス・デ・エル・ロメラル支石墓は、ヨーロッパの中でも例外的です。その支石墓は、まるで眠っている巨人の顔のように見え、ラ・ペーニャ・デ・ロス・エナモラドス山の前に位置し、春分や秋分を知らせるのではなく、シエラ・デル・トルカル山に向けられているという特徴があります。

シエラ・デル・トルカルの山道は、「大石林山」に似ています。そのような不思議な岩山の間を歩いているとき訪れる人々は、とても数千年前のものとは信じられないほどの印象をもちます。

La peña de los enamorados
ラ・ペーニャ・デ・ロス・エナモラドス山



La sierra del Torcal
シエラ・デル・トルカル



La primera civilización que conocemos de España se ubica en esta misma zona: El sur de España y de Portugal. De los Tartessos no tenemos mucha información, pero los griegos creían que eran los primeros pobladores de Europa. Algunas personas creen que los Tartessos podrían ser la civilización perdida de la Atlántida.

Otra civilización de la que si tenemos más información, es la de los íberos. Nombrados así por los griegos, consta de una serie de pueblos dispersados por la costa sur y este de España. Los íberos vivían en poblados amurallados y gobernados por familias guerreras.

Tenemos muchos restos de su cultura gracias a sus ritos funerarios. La dama de Elche es un busto de mujer del siglo V A.c. Sorprende la calidad y el detalle del trabajo realizado. Posiblemente servía como urna funeraria. El nombre de "íberos" se ha utilizado para nombrar a la península ibérica; "Iberia" la compañía aérea española o el "jamón ibérico" que tiene su origen en estos pueblos.

私たちが知っているスペインの最初の文明は、南スペインやポルトガルなど、この同じ地域から見つかっています。

デ・ロス・タルテッソスについてはあまり多くの情報はありますが、ギリシャ人がヨーロッパで最初の入植者であると信じていました。一部の人々はタルテッソスが、アトランティスの失われた文明である可能性があると感じています。

私たちが多くの情報をもっているもう一つの文明は、イベリアの文明です。ギリシャ人によって名付けられたこの町は、スペインの南海岸と東海岸に位置する一連の村で構成されています。イベリア人は城壁に囲まれた町に住み、兵士の家族によって支配されていました。

彼らの葬儀があったおかげで、私たちは彼らの文化の多くの遺跡を持っています。

エルチェ婦人の胸像は紀元前5世紀のもので、その像に施されたその緻密な作業と品質は驚くべきものです。おそらく葬儀用の壺だったのでしよう。

「イベロス」という名前は、イベリア半島の名前にも使われていて、これらの町を起源とするスペインの航空会社は「イベリア」と言い、ハムは「イベリアハム」と言われています。



La dama de Elche
エルチェ婦人の胸像

Cuadernos de Historia

Un paseo por los lugares que han marcado la historia de España

スペインの歴史散歩道

En las islas de Menorca y Mallorca se encuentra una particular cultura, la Talayótica, de la cual tampoco tenemos mucha información. Los primeros pobladores llegaron hace 4.000 años y conformaron una sociedad que duró hasta la llegada de los romanos. Estos primeros isleños edificaron con piedras dos tipos únicos de edificios llamados taulas, en forma de "T", y navetas en forma de nave invertida. Sólo en la isla de Menorca hay 2 construcciones de este tipo por cada km². 1500 en total.

El origen de estos pueblos, como el de los vascones, que podrían ser un tipo diferente de iberos, es desconocido. Desde el año 1.000 A.c. fueron llegando nuevas culturas a la península ibérica. Sus aportaciones fueron fundamentales para los autóctonos.

メノルカ島とマヨルカ島には、タラヨティカという特定の文化がありますが、まだそれらについてあまり情報はありません。最初の入植者は約4,000年前に到着し、ローマ人が来るまでの間、そこで社会を形成していました。

最初の島民は、「タウラ」と呼ばれるT字型の形をした建物と、逆さまの舟の形をした「ナベタ」と呼ばれる2つのユニークな型の建物を、石で造りあげました。

小さなメノルカ島には、1平方キロメートルの中にそれらの2つの石の建物が存在していて、その数は1,500基もあります。

この地域の起源は、バスク人がそうであるように、イベリコ人とは異なる人種の可能性もあり、まだ分かっていません。紀元前1,000年以降、新しい文化がイベリア半島に到着していました。彼らの貢献は、イベリアにいた原住民にとって基盤となるものでした。



La Talayótica/タラヨチカ文化

Del norte de Europa llegaron los celtas. Ellos trajeron el hierro y la ganadería. Se ubicaron por todo el centro y el norte, construyendo sus famosos castros, o poblados de casas circulares. Galicia está llena de estos poblados y su visita es obligada, si se hace el Camino de Santiago.

En la zona de Cataluña se asentaron diferentes colonias griegas como Ampurias cuyos restos, se pueden visitar, siendo Patrimonio de la Humanidad desde 2002. Los griegos aportaron la producción de aceite, el uso de la moneda, la cerámica, y las gallinas a los pueblos Iberos de la zona.

ケルト人は北ヨーロッパから来ました。彼らは、鉄と家畜を持ってやってきました。彼らは中央部と北部に来て、有名な「カストロ」と呼ばれる円形の家が集まった村を形成して住んでいました。

ギリシア地方には、これらの村がたくさん存在していて、サンチアゴ巡礼の旅をするなら必見です。

カタルーニャ地方には、アンブリアスなどのさまざまなギリシアの植民地があり、その遺跡を訪れることができます。2002年以降世界遺産となっています。

ギリシア人は、その地域のイベリア人に油の製造方法、コイン、陶器、養鶏をはじめめることに貢献しました。



Los Certas/ケルト文化



Los Griegos/ギリシャ文化

Por último, los fenicios, originarios del actual Líbano, eran famosos comerciantes que establecieron relaciones con los diferentes pueblos del mediterráneo. Para poder comerciar con tantas cultura diferentes los fenicios elaboraron un alfabeto que fue la base del alfabeto griego, hebreo, latín, árabe... Crearon las primeras ciudades en la península como Cádiz y Málaga.

Importaron el cultivo del vino, el uso del torno alfarero y un instrumento que ahora asociamos a España pero que en realidad es un instrumento mediterráneo: las castañuelas.

Desde que dejamos la vida nómada para formar comunidades más grandes el intercambio ha ido creciendo y enriqueciendo nuestras culturas. Un intercambio que se ha acelerado en los últimos siglos y que continua en nuestros días.

最後に、レバノンが起源のフェニキア人は、地中海のさまざまな人々との関係を確立した名高い商人でした。多くの取引きをするために、フェニキア人はギリシャ語、ヘブライ語、ラテン語、アラビア語を使い、アルファベットの基礎となるものを開発しました。そして彼らは、カディスとマラガのある半島で最初の都市を形成しました。

彼らは、ワインの栽培、陶器のろくろ、今ではスペインに結びつけられていますが、実は地中海の楽器であるカスターネットなどを輸入しました。

私たちが遊牧生活を離れ、より大きなコミュニティーを形成してから、交流は盛んになり、私たちの文化を豊かにしてきました。

交流に関しては、ここ数世紀で加速し、今日の私たちの生活に続いているものです。



Los Fenicios/フェニキア文化



Los Goya de Okinawa

Primera muestra de cine español en okinawa

ゴーヤ映画祭



El pasado 24 de octubre y 7 de noviembre, realizamos en la colaboración con el cine Theater Donut de Okinawashi y los vinos 8LGENDS, una presentación de la película española Campeones. Se trata de una película que ganó el premio más importante del cine español en el 2018. Este premio lo otorga la academia de cine española en una ceremonia parecida a los Oscars de Estados Unidos. Este premio se llama "Goya" por el famoso pintor español Francisco de Goya.

La película trata sobre un equipo de básquet de personas con discapacidad intelectual. La llegada de un entrenador profesional, ajeno al deporte inclusivo, generara una serie de situaciones muy divertidas pero también muy emotivas y llenas de reflexiones sobre como la sociedad acepta o limita a las personas con discapacidad.

Más allá de lo mucho que puedes reír, emocionarte y aprender viendo está película, es necesario recalcar que por primera vez, los actores son personas con discapacidades reales. No es un documental donde se muestran ellos mismos tal y como son. Es una película donde hay un trabajo interpretativo. Tienen que aprender un papel, desarrollarlo y actuar. La película es un manotazo contra los muros, barrera y prejuicios con los que viven estas personas.

La entrada incluía un muestra de paella recién hecha, un vaso de sangría sin alcohol y para los que quisieron, una cata gratuita de vinos 8LGENDS. Los 8LGENDS son un surtido de 8 vinos españoles de la zona de Castilla La Mancha que se pueden encontrar en Plaza House.

Al terminar la película realizamos un debate promovido por estudiantes de español que durante este año han estado profundizando en como se realizó la película desde el casting hasta el rodaje y como ha cambiado la vida de los actores tras el éxito de esta película.

Desde la Sociedad Española de Okinawa queremos que esta actividad se consolide y nos sirva para presentar una muestra de cine en el 2021. En un formato similar a este, la muestra estará conformada por 5 películas españolas y latinoamericanas que por su temática y relevancia pueden ser interesantes para la sociedad okinawense. Dado que el objetivo es fomentar el conocimiento y el intercambio cultural la muestra se llamara Los Goya de Okinawa, haciendo referencia a los premios de cine españoles y al vegetal característico de Okinawa.

Esperamos veros muy pronto en el cine.

Os recomendamos estos videos.

Video Goyas

Video Fesser

Video SEO!!!





10月24日と11月7日、沖縄市のシアター・ドーナツと8LGENDSワインと共同で、2018年にスペインで最も荣誉あるゴヤ賞を受賞したスペイン映画「だれもが愛しいチャンピオン(邦題)」を紹介しました。ゴヤ賞とは、米国のオスカー賞のようなもので、スペイン映画アカデミーによって授与されるものです。スペインの有名な画家フランシスコ・デ・ゴヤにちなんで「ゴヤ賞」と呼ばれています。

「だれもが愛しいチャンピオン」は、知的障害を持つ人々のバスケットボールチームについて描かれています。慈善活動とは無縁なプロバスケのコーチが、ひょんなことから障害者バスケチームのコーチとなり、彼らと苦楽を共にするうちに心に変化が現れます。この心の変化の過程は、社会が障害を持つ人々をどのように受け入れ、または制限するかについて、愉快にかつ非常に感情的に描写されます。

この映画で強調すべき点は、その面白さのみならず、俳優たちが本当の障害を持つ人々であることです。その点で、他の単純なドキュメンタリーとは一線を画す作品となっています。彼らは役を演じることを学び、それを自身で発展させなければなりません。この映画を見た後、あなたはきっと障害者に対する考え方が変わることでしょう。

今回のイベントでは、入場料に出来立てのパエリアひと皿、ノンアルコールのサングリア一杯、そして希望者には8LGENDSワインの無料テイスティングが含まれました。8LGENDSワインは、カスティージャ・ラ・マンチャ州の8つのスペインワインのセットのことで、沖縄県内ではプラザハウスで購入できます。

映画の鑑賞後に、スペイン語を勉強している学生とともに活発な討論を行いました。彼らは今年、この映画のキャスティングから撮影までどのように作られたか、そしてこの映画の成功後に俳優の生活がどのように変わったかをリサーチしていました。

当協会では、このイベントを拡大し、2021年にも同様に開催したいと考えています。紹介するのはスペインとラテンアメリカの映画5本、沖縄の方々に

興味を持ってもらえるようなものを紹介予定です。スペインに関する知識と文化交流を促進することも目的としているため、先に説明したスペイン映画賞と、有名な沖縄の野菜を用いて「沖縄のゴヤ賞」と呼ぶことにしています。

それでは映画館でお待ちしております！

これらのビデオをお勧めします。ビデオゴヤ・ビデオフェッサー・ビデオSEO !!!



会員募集！

沖縄スペイン協会は、スペインが大好きな仲間の集まりです。
スペイン文化と一緒に楽しめる協会会員を募集しています！

当協会には2つのメンバータイプがあります。

■ **会員**: 年会費を支払い総会に参加する権利を有し投票権を持つ。幹部会のメンバーに選出される資格を持つ。イベント入場料の割引権が与えられる。(入会費2,000円、年会費1,000円)

■ **アミーゴス**: 当協会の趣旨に賛同し、自発的に協力を行う。総会に参加する権利を有するが投票権は持たない。(年会費のみ1,000円)

詳細は、ホームページにある会則をご覧ください。

入会方法: 下記の内容①～⑦をメールまたは郵送にて協会事務局までお送りください。受け取った個人情報は、協会員への連絡のみに使用させていただきます。

- ①お名前(漢字とアルファベット)
- ②ご住所(〒)
- ③お電話番号 ご自宅… 携帯電話…
- ④Email アドレス(協会のイベントなどメールでお知らせします)
PC… 携帯…
- ⑤生年月日
- ⑥紹介者名
- ⑦協会に望むこと

〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古4-7-2

カフェノニナ宛 沖縄スペイン協会事務局

Eメール: okinawaspain@gmail.com

ホームページ: <https://seokinawa.jimdofree.com>



フェイスブック: <https://facebook.com/seokinawa>



最新情報は、
Facebookを
見てね！



スペイン大使館公認 沖縄スペイン協会



【沖縄スペイン協会の歩み】

- 2016年 11月発足（会長：上原由紀音）
- 2017年度 「スペインじょ〜と〜」 イベントを皮切りに、コンサート、料理会など9つの例会を開催
会誌第1号出版
- 2018年度 「ピアノによるスペインのひととき」 コンサートはじめ6つの例会を開催
会誌第2号出版
- 2019年度 「情熱のピアノ」 コンサートはじめフラメンコ、文化紹介など6つの例会を開催
会誌第3号出版
- 2020年度 （会長：ギジェルモ・アランプロ）
沖縄県国際交流・人材育成財団のスペイン語翻訳、「ゴージャ映画祭」開催
会誌第4号出版

2020年度役員

会 長	ギジェルモ・アランプロ
副 会 長	服 部 洋 一
顧 問	當 間 茂 樹
会 計	大 城 英 明
	城 間 文 子
監 査	池 田 育 代
事 務 局	島 袋 紀 子
	カルロス・ゴメズ
広 報	島 袋 紀 子
企業関係	E. ハイブリッヒ・サンチェス
翻 訳	ルゼ・ロメロ・コスタ

スペイン大使館公認 沖縄スペイン協会

